

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年07月02日

計画の名称	下水道整備による住みよいまちの実現												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	東郷町												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な生活環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	429	A	422	B	0	C	7	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	1.63	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	下水道処理人口普及率を77%(H25末)から80%(H30末)に増加させる 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)/行政人口(住基)(人)	77%	78%	80%
2	重要幹線管渠の未耐震管渠の耐震補強工事を0%(H25末)から100%(H30末)に増加させる 未対策重要幹線管渠の耐震化対策率 耐震対策が行われている延長(km)/未対策重要幹線管渠延長(km)	0%	64%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	東郷町	直接	東郷町	管渠(汚水)	新設	白土・牛廻間枝線整備	管渠L=1.0km・A=36000m2	東郷町						163		-	
	A07-002	下水道	一般	東郷町	直接	東郷町	管渠(汚水)	新設	開発区域枝線整備	管渠L=0.9km	東郷町							86		-
	A07-003	下水道	一般	東郷町	直接	東郷町	管渠(汚水)	改築	重要幹線耐震化事業	更生L=0.3km・人孔N=80基・マンホールN=22基・可搬ポンプ2台	東郷町							130		-
	A07-004	下水道	一般	東郷町	直接	東郷町	管渠(汚水)	-	効果的な事業実施のための計画策定等	調査検討	東郷町							4		-
	A07-005	下水道	一般	東郷町	直接	東郷町	-	-	ストックマネジメント計画	計画策定	東郷町							39		-
												小計						422		
												合計						422		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	東郷町	直接	東郷町	管渠（ 污水）	新設	白土・牛廻間枝線整備	管渠A=2200m2	東郷町						7		-	
		基幹事業である污水管整備と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、下水道の普及促進に寄与する。																		
											小計						7			
											合計						7			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 東郷町経済環境部において実施	事後評価の実施時期 令和元年7月
	公表の方法 東郷町ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・汚水管渠の整備により、下水道処理面積の拡大が図られ、下水道処理人口普及率が上がった。 ・地震時におけるマンホールの浮上等を防止する工事が概成し、下水道処理区域内にある指定避難所にマンホールトイレが確保できた。地震時におけるひずみや屈曲等によるズレや拔出しに対する地震対策として管渠更生工事を実施した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も下水道整備を促進し、下水道人口普及率、接続率の向上を図り、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質汚濁防止を図る。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	80%
	最終実績値	80%
2	最終目標値	100%
	最終実績値	100%